



医療法人道南勤労者医療協会

道南勤医協函館稜北病院



病院データ

住所	〒041-0853 函館市中道2丁目51番1号
URL	https://ryohoku-h.hakodate.jp/
連絡先(窓口)	医局事務 宝福 0138-54-3113 (代表) ikyo-314@donank.jp
病床数	104床
専門研修指導医数	3人
臨床研修指導医数	4人
外来患者数	73.6人/日 ※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	92.7人/日 ※令和4年度(2022年度)実績
給与(月額)	55万円



専門研修プログラム

総合診療科

函館総合診療研修プログラム

北海道の南部に位置する函館市を中心とした道南地域で総合診療医を養成するプログラムです。45万人の道南二次医療圏には、高齢者を支える総合診療医が切実に求められています。地域基幹病院である市立函館病院、共愛会病院や町立松前病院とも連携して道南地区で研修を完了できます。

(連携施設)

【病院】函館中央病院／市立函館病院／函館おしま病院／共愛会病院／道立江差病院／松前町立松前病院／奥尻町国民健康保険病院／勤医協中央病院／勤医協札幌病院

【診療所】はるこどもクリニック／道南勤医協江差診療所

院長から



院長 木田 史朗

当院は104床の小規模病院ですが、異なる医療機能を持つ2つの特色ある病棟を持っています。ひとつは回復期リハビリ病棟、脳血管障害・大腿骨折後等の患者に対し、リハビリを行って早期の社会復帰を目指しています。そのために3名のリハビリ専門医と多数のリハビリ技士をそろえ、365日切れ目のないリハビリ提供を行う体制を取っています。もうひとつの病棟は急性期病棟として一般的な疾患の入院治療を行っています。こちらも函館市内の急性期病院と密に連携して患者に適切な医療を提供しています。また、在宅療養支援病院として24時間体制の訪問診療・往診を行っています。

当プログラムに興味をもたれた方は、是非一度見学にお越しください。

当院での研修でまず第一に身に付くものは主治医力です。小規模病院のメリットを活かし、外来は慢性疾患の継続外来を担い、在宅では複数の疾患を抱えた高齢者を継続して診ていき、入院が必要であれば自分が主治医となり、精査治療が終われば退院調整をして、外来や訪問診療でも継続して主治医として関わることができます。一人でなんでもやらなければならないわけではなく、病棟ではほぼ毎日のカンファレンス、外来、訪問診療では指導医との振り返りを重視しており、自分の患者のことを指導医が把握した上で、必要な時にバックアップする体制を敷いています。

他には市内の他法人、多職種などいろいろなコラボをしてこの地域を良くしようと活発に活動しているため、地域ケアに興味のある人にはうってつけの舞台が用意されています。是非一緒に楽しく活動しましょう。



総合診療科長 川口 篤也

専攻医から

函館総合診療研修プログラムは当院を基幹病院としながら、函館・札幌の連携病院から専攻医のニーズに合わせた研修を幅広く選択し組み合わせることができるのが魅力のひとつです。

また当院は道内屈指の総合診療・家庭医療の教育施設である勤医協中央病院で培われた教育システムや指導医を擁しており、函館という地方都市ならではの地域に根差した家庭医療を経験しながら、確かな医学教育や指導を受けることが可能です。

将来は小～中規模病院や診療所で家庭医療を実践したいけれど、専攻医の間はしっかり急性期疾患や慢性疾患管理を経験して基礎を習得したいという欲張りな自分の希望に叶うプログラムだと感じています。



専攻医 藤本 誠也

総合診療科長から